

# CSRレポート2020

## 目次

CHAPTER 01	総括 - トップメッセージ -	02
CHAPTER 02	2020年の活動	04
CHAPTER 03	2021年の方針	14

## CHAPTER 01

# 総括

## - トップメッセージ -

2020年は世界的にCOVID-19に翻弄された一年でした。3密を避ける、ステイホーム、ニューノーマル・・・社会の生活様式・価値観が改めて問われる中で、コロナ禍をきっかけにサステナブルな社会への実現に向けた意識の高まりを感じます。ものを買うとき、サービスを受けるとき、何かへ投資をするとき・・・一般消費者は以前よりも地球に良いこと、環境の負荷が少ないものを選択することが確実に増えました。

清原は、ファッション業界、手芸・ホビー業界において、『つくるたのしみ、魅せるよろこび』をパーツや資材、製品を通じて提供しています。

アパレル業界では、素材の質感や面白さ、多様さを重視し、製造原価にシビアなため、比較的エコ・サステナブルへの取り組みは遅れていると言われてきました。ファッション性の追及と、環境負荷が少なくリーズナブルな価格の実現はしばしばトレードオフの関係にありますが、清原ではSDGsやESG経営に関する意識の高いアパレル様と協働し、その両立にチャレンジしています。

手芸・ホビー分野では、巣ごもり生活を余儀なくされるなか、手作りマスク素材やエコバッグなどの提案を通じ、また手作りの楽しさをコロナ禍で初めて、或いは改めて感じていただいたお客様がいます。そのようなお客様に向けて創作意欲を刺激するような次のステップの提案を行い、コロナ禍を少しでも楽しく、こころ豊かに過ごせるようお手伝いしています。

2019年にアパレル事業部の草の根運動としてスタートしたCSR/CSV(Creating Shared Value)活動を事業部横断型・社内タスクフォース『CSRプロジェクト』へ格上げし、経営会議と連携させ、掛け声で終わらず実態を伴う活動へ落とし込むことに注力しました。

具体的には、まずⅠ環境、Ⅱ社会、Ⅲ人・ガバナンスにフォーカスしたCSR憲章を掲げ、社内外にコミットしました。その上で、全社活動、及び各事業部の課題をSDGsの17項目にあてはめた目標に落とし込み、目標管理を実施しました。

2020年の全社活動として得られた成果は下記3点などです。

- ①経済産業省・健康経営優良法人認定取得(大規模法人部門)
- ②bluesign®への加盟
- ③三井住友銀行様による働き方改革融資実施

以下、各事業部の取り組みについて、Ⅰ環境、Ⅱ社会、Ⅲ人・ガバナンスの3領域に分けてこの一年の活動を振り返っていきます。

本CSRレポートはGRIガイドラインに沿った体系的なものではなく、フォーカスした項目には片寄りがあり、一つ一つの活動はまだまだ小さく試行錯誤も多いですが、清原のCSR活動の一端をご理解いただければ幸いです。

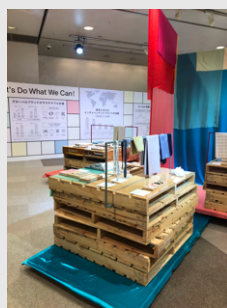
## 2020年の活動

### I 環境

#### 商品・営業に関するトピックス

##### ① 清原アパレル資材展-2020-

2020年2月に開催した「清原アパレル資材展-2020-」では、「サステナブルコーナー」を設置しました。コーナー内では、持続可能な社会形成の重要性についての調査研究パネルなどを交えて展示し、問題提起を行いました。天然素材、リサイクル、バイオマス、生分解をテーマとし、単に副資材の商品提案をするだけでなく、サステナブルに対する理解を共有し、アパレル様とサプライヤー側の双方で力を合わせてものづくりを進めていくことを目標としました。



## ② オンラインツールの導入

これまで対面式で行ってきた商談会は、オフラインは予約制、加えて HP で動画紹介やカタログ案内を行うオンライン商談会を実施しました。これにより社内の業務効率化を図り、お客様の移動の負担が少なく済むよう展開しました。既存のお客様への会員サイト提供や新商品をメールマガジンや SNS で案内するなど、既存コンテンツのデジタル化を推進し、平常時のオンライン営業にも注力しています。営業員の所持ツールについても、ノート PC への切り替え、クラウドサーバーの利用推進、オンライン商談ツールを導入することで、ペーパーレス化と移動による Co<sup>2</sup>削減にも尽力しました。

一般のお客様に向けては、マスクカバーやどなたでも簡単に作れるマスクのレシピ、型紙、動画コンテンツの各種無料配信を実施。メディアや福祉施設でご利用いただいたり、生地提供を行うことで、感染拡大防止に貢献しました。

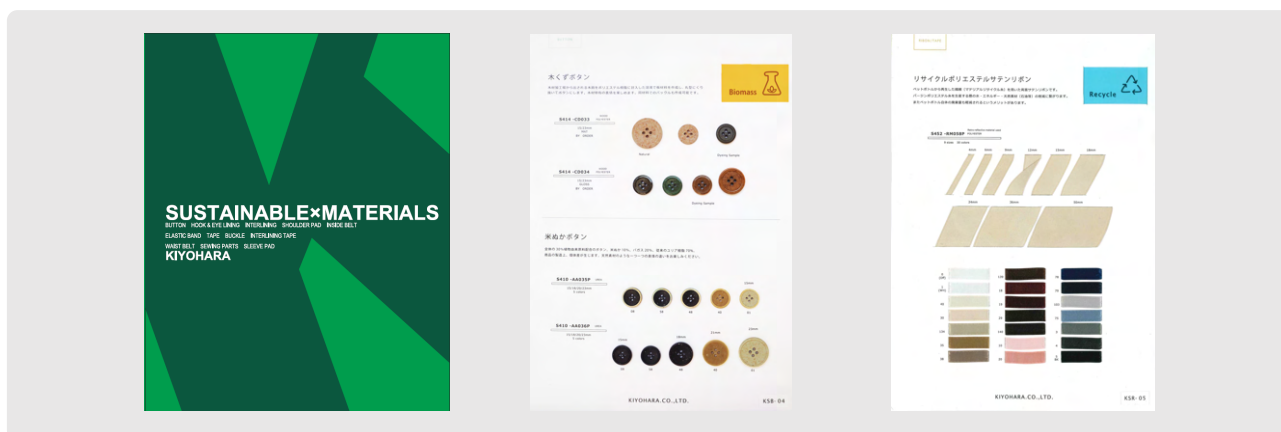
## ③ bluesign 加盟

2020年2月に「bluesign system」に加盟しました。bluesign とは、繊維業界で環境・労働・消費者の観点における持続可能なサプライチェーンを経た製品に付与される認証です。1997年にプロジェクトとして発足し、2000年、独立機関「ブルーサイン・テクノロジー」がスイスのザンクト・ガレンに設立されました。アパレルだけでなく、化学薬品サプライヤー、繊維及び服飾品メーカーなど、繊維業界に関わる多数の企業が対象です。検査内容は、製糸から最終製品に至るまで、素材、資源消費、騒音、大気・水質汚染、労働環境など多岐にわたります。これらによって次世代につながるものづくりの発信性を高め、業界の意識向上を進めていきます。



#### ④ サステナブルな服飾資材の開発

資材展におけるサステナブルコーナーのスローガン「Let's Do What We Can! (私たちができることをやろう!)」をコンセプトに、サステナブル商品の開発に取り組みました。「サステナブルな商材は品質が優れている半面、外観の審美性や洗練さが欠けてしまう」という意見が企画内で多かったため、ファッションと融合した見せ方が出来るようなサンプル帳を作成しました。



#### ⑤ マスク・ウイルス対策関連商材

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、手芸店には手作りマスク材料を求める消費者様が急増しました。清原では、従来より扱っている商材に加え、生地・パーツ・キット等のアイテムを強化し、消費者様の声に応えることで、感染拡大防止に少しでも貢献出来るよう尽力しました。



## ⑥ エコバッグ関連商材

2020年7月1日より、レジ袋の有料化が始まりました。エコバッグを持つことが当たり前になり、好みの生地や資材でエコバッグを手作りされる消費者様も増えています。清原は、エコバッグ作りに適したナイロン生地やパターン、キットを増強し、プラスチックゴミ削減に寄与することで、持続可能な社会づくりに貢献します。



Kayo Horaguchi  
エコバッグキット プロムナード  
(2020年9月発売)



HANDMADE collection  
フォールディング  
トートバッグセット  
(2020年7月発売)



クラフトギャラリー  
エコバッグキット  
(2020年10月発売)

## 管理・全社活動に関するトピックス

### (Before コロナ)

コロナ禍以前から、エネルギーの削減、資源の有効活用やペーパーレス化、及び働き方改革への取り組みという観点で、下記取り組みを進めてきました。

- ・ 築年数が古い自社ビルを含め、事務所の LED 化
- ・ ペーパーレス化（及び業務効率アップ）という観点でのワークフロー（電子決裁システム）の導入
- ・ 同、でんさい（電子記録債権）の導入と普及
- ・ 同、支払明細の Web 化
- ・ 物流・事務所からの集約出荷の実施・徹底
- ・ パッケージの簡素化、及び繰り返し使えるパッケージ採用
- ・ 職種・対象者を絞った在宅勤務制度の運用

### (With コロナ)

コロナ禍で状況が一変、在宅勤務の必要性から DX 化の加速が必然となり、下記のような種々施策の実施により、従業員の約80%が在宅勤務可能となる環境・インフラを整えました。

- ・ 社内システムにリモート環境でアクセスでき、オフィスと同様に仕事・コミュニケーションが取れるシステム・インフラ作り
- ・ そのための社内ルール作り、機器貸与、セキュリティ対策
- ・ エバンジェリスト体制の設置、社内サポート・ヘルプデスク体制の強化・整備
- ・ 就業規則の変更、及び就業管理システムの導入
- ・ 上記(Before コロナ)項目の更なる運用拡大

この活動が結果として人やモノの移動を減らし（エネルギー消費を減らし）、資源消費を減少させるという環境面での CSR 活動、働き方改革を一步進めることにつながりました。After コロナが訪れたとしても、このような活動の継続を課題としています。



## II 社会

### ①各種業界団体での活動

CSR 活動において、自社単独でできることは限られます。清原は各種業界団体活動を主催し、中核的な役割を担い、或いはメンバーとして参加し、その活動を通じて業界全体の維持発展、構造改革に取り組みつつ、CSR 活動に関する啓蒙活動やサステナブルにつながる活動を企画・運営・支援しています。

主な所属団体は下記などです。

- ・ 清原同志会
- ・ 大阪釦服飾手芸卸共同組合(OBFS)
- ・ 一般社団法人 日本ホビー協会
- ・ 繊維産業流通構造改革推進協議会(FISPA)
- ・ 協同組合 関西ファッション連合(KanFA)
- ・ 東京ファッションマテリアル同業界(TOFMA)他

### ②服飾系専門学校への協賛

専門学校のファッションショーへの協賛、手づくりフェアにおけるデコリメイクコンテストの支援を通じ、学生に多彩なパーツ類や裏地・芯地などを知ってもらい、クリエイションの喜びを感じてもらえるようお手伝いをしています。その中で、サステナブルというキーワードに焦点を当て、未来のデザイナー、パタンナーの啓蒙活動に、或いはそこから得たフレッシュな発想やニーズの具現化に取り組んでいます。

### ③フェアトレード商品開発の着手

持続可能な社会を目指し、フェアトレードを通じて途上国の生活向上につながる商品開発に取り組んでいます。フェアトレードパートナー協力のもと、インド製トートバッグの開発を進めています。



インド製のトートバッグ  
(2021年発売予定)

#### ④地域活性化活動

手作りを通じて、多くの方にぬくもりと楽しさを伝えるために、岩手県や岐阜県で活動されている団体様との共同企画に取り組んできました。全国の生活協同組合にチラシを配布する事で、共同企画を行った地域の取り組みへの認知活動にもつながっていきます。



刺し子ふきんの手作りキット  
岩手県上閉伊郡大槌町で発足された「大槌復興刺し子プロジェクト」と共同企画



布ぞうりの手作りキット  
岐阜県恵那市串原「ささゆりの里布ぞうり研究会」と共同企画



つるし飾りの手作りキット  
岐阜県飛騨市古川町「つるしかざり研究会」と共同企画

#### ⑤BCP 対策

BCP 対策（事業継続計画）、すなわち大規模な自然災害や緊急事態などの万一に備え、事業活動を止めない、バリューチェーンを途切らせない活動は、CSR 活動の最も基本的かつ重要なことと認識しています。基幹サーバーのバックアップ対策、クラウド化、いざという時の速やかな在宅勤務への移行、災害マニュアルや連絡網の整備など、緊急時、非常時に卸としての機能を停止させないための取り組みを（道半ばですが）進めています。

### III 人・ガバナンス

#### ①健康経営の実践

2020年3月に経済産業省より、健康経営優良法人(大規模法人部門)に認定されました。※注)

ストレスが多い世の中、豊かな心は、心身共に健康であることが重要と考えています。職場の安全衛生面の改善や環境整備、健康維持増進のため定期健康診断の100%受診の徹底、特定保健指導実施率の向上、メンタルケア・サポートなどに注力していきます。

注)健康経営優良法人制度とは、経済産業省による地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度です。

健康経営の促進は [こちら](#) (経済産業省 HP)

#### ②清原長期収入サポート制度(GLTD)

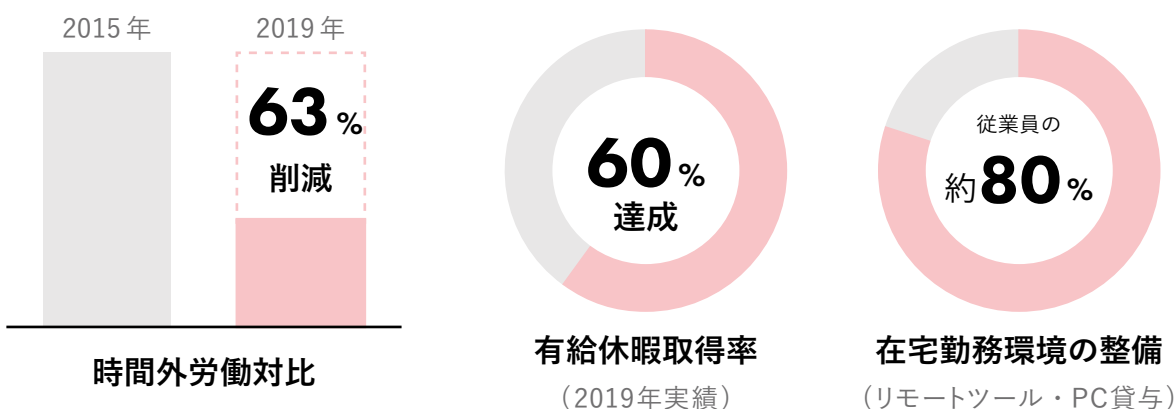
福利厚生の一環として清原長期収入サポート制度を導入しています。従業員が万一、病気やケガで長期間仕事が出来なくなった時の一定の収入を守るもので従業員本人やその家族を守り、長く安心して働ける環境を提供します。

GLTDパンフレットは [こちら](#)

#### ③働き方改革への取り組み

少子高齢化や価値観が多様化する世の中において、従業員が個々の事情に応じて多様で柔軟な働き方を選ぶことを支援するため、諸制度の整備と運用強化を進めています。残業が多い、有給休暇が取りづらいという業界の特性を克服すべく、業務改善活動と就業管理システム導入による運用徹底により下記改善を図りました。また、2019年12月には三井住友銀行様より、働き方改革融資を受けました。

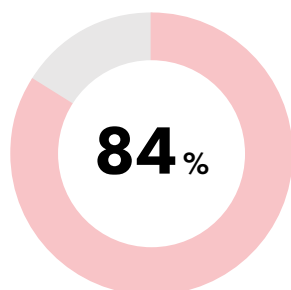
働き方改革融資については [こちら](#) (三井住友銀行 HP)



#### ④ダイバーシティ経営

##### ・女性活躍推進

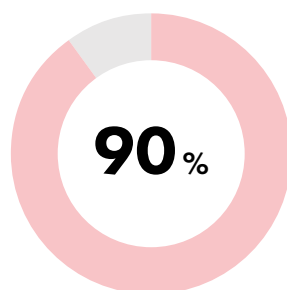
ファッション、ホビー(手芸、クラフト)という分野に根ざす清原は女性が活躍する会社です。更なる女性の活躍、登用を推進し、支援していきます。



##### 女性総合職比率

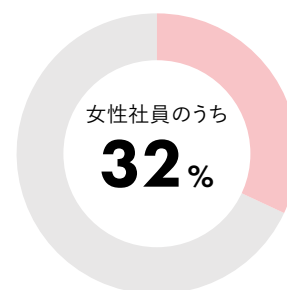
(エリア総合職を含む)

女性の大半が総合職として活躍、女性目線を活かした商品開発、他、提案営業と多方面で活躍しています。



##### 育児休業取得率

(2019年6月～2020年5月)



##### 育児休業取得者の割合

(累計)

女性社員のうち3人に1人の割合で育児休業から復帰し、現在も活躍しています。

実際に働く社員の声は [🔗こちら](#)

##### ・グローバル社員の活躍

直接・間接的に海外との取引が多い国際性を特徴とする中で、国内外で外国人が活躍してきた土壌・実績を活かし、多様な国籍を持つ社員が同様に活躍出来る場を設けています。

実際に働く社員の声は [🔗こちら](#)

##### ・キャリアアップ支援

非正規社員を正社員に登用する機会を積極的に設け、会社全体でキャリア形成を支援していきます。現在、パートから管理職への抜擢など、他複数名が正社員として営業職、商品企画職の中核として活躍しています。

## ⑤社内教育・研修活動

CSR 活動をベースとして支えるべく、各種社内教育・研修に力をいれています。

・ bluesign 加盟によるインフラやネットワークを活用すべく、社内プロジェクトを発足させました。

その活動の一貫として、bluesign system とは何か、どのようなミッションやメリットがあり、どのように活用できるのかといった基本を学ぶ勉強会を実施しています。

・ 健康経営に関する研修の実施

従業員の健康維持・増進を目的として定期的に研修会を開催。生活習慣病予防、長時間労働の低減、メンタルヘルスほか幅広いテーマに基づいた研修を実施しています。

・ 安全衛生委員会

産業医と連携し、各拠点参加型(Web 会議)で基本月に1回実施しています。各職場の巡視をはじめ、従業員の健康増進に関する情報の共有、昨今では新型コロナウイルス感染症への対策・メンタルヘルスサポートに注力し、従業員がいつまでも安心して働けるよう企業全体で取り組んでいます。

・ WEB 学習支援(e-Learning)サービス

生活習慣病対策、メンタルヘルスケア、労働安全、ほかコンプライアンスに関して e-Learning を通じて個人のペースで好きな場所・好きな時間に学習できる環境を整備し、従業員の意識向上を図っています。

・ 従業員向けヘルプデスクサービス

従業員向けにヘルプデスクサービス(東京海上日動火災保険「健康経営支援サービス」)を導入し、法律・税務相談などのデイリーサポートから専門医によるメディカルアシストまで、あらゆる悩み・相談に対して、的確なアドバイスを受けられる体制を設けています。

## 2021年の方針

年明け早々コロナ禍の緊急事態宣言の下、2021年がスタートしました。2月中旬からワクチン接種がようやく開始し、前半は国をあげて東京オリンピック開催に向けた懸命の感染終息・沈静化に向けた活動が続きます。(無事開催出来ることを祈ります。) COVID-19により、地球規模での人の移動や生産・消費活動の停滞が環境負荷を一時的に低減させているようですが、パンデミックの終焉と共に逆戻りやリバウンドが懸念されています。経済活動の維持・回復と持続可能な社会実現の両立に向けた企業活動への責任は重さを増すばかりです。

2021年は、軌道に乗り始めた 1.CSR プロジェクト+2. 各事業部+3. 経営会議の連携を更に強化してまいります。一方で、一企業単体には出来ることは限られています。同じ思いを共有するお客様、パートナー様との協働・コラボレーションにより、清原のCSR活動をCSV活動、即ち社会と経済両方の善へつなげるべく、エコで持続可能な商品・サービスの提供と、バリューチェーン全体での価値創造・ビジネスモデルの構築を加速していきます。

また、新たな多様性のある商品やライフスタイル提案にチャレンジする中で、品質管理体制の強化がますます重要となります。商品・サービスの品質確保は、CSR活動の根幹と捉え、全社をあげて品質管理体制を強化していきます。各事業部においては、以下のコミットメントに専念し、CSRに対する取り組みを推進していきます。

### (アパレル事業部)

持続可能な社会づくりに貢献するマーケットに向け、環境配慮商材の提案、適時・適量なものづくりの実現を目指し、アパレル業界全体の持続可能な取り組みに貢献していきます。

#### (ホビーライフ事業部)

新型コロナウイルス感染への不安がしばらく続くなかで、引き続き感染症対策やアフターコロナに向けた商品開発を行い、同時に情報発信のコンテンツ強化にも継続的に取り組む事で、安心・安全・心豊かな暮らしをサポートしていきます。またサステナビリティへの取り組みとして、パッケージ資材は環境配慮品を採用するなど、社会・環境的貢献活動をテーマにした商品開発を進めていきます。

#### (ライフスタイル事業部)

通信販売事業を営むお客様の戦略パートナーとして、エコ商材、地域活性化活動やフェアトレード活動への協力など、多様なニーズに応えていきます。

#### (海外事業部)

欧米諸国などの環境保護意識の高い市場に対して、エコフレンドリーなアパレル資材・手芸資材等を提供するとともに、フェアトレードを重視する企業からの輸入を推進していきます。